

平成27年度の『「全国地域づくり人財塾」修了者の地域づくり活動調査』において、修了生が地域づくり活動の中心メンバーとなり継続して活動している状況や、自らの地域に限らず広域において活動している状況等が明らかになった。人材力活性化研究会として、第19回・第20回研究会での議論を踏まえて、修了生の地域づくり活動にインセンティブを付与する仕組みとともに、その活動を積極的に後押しするため、以下案のとおり支援を行うこととする。

第19回・第20回研究会における論点と主な意見

（論点）

どのような仕組みがインセンティブの付与につながるのかを検討する必要があるのではないか。また、修了生が地域に戻った際、新たな取り組みにつながる仕組みを検討する必要があるのではないか。

（論点に対する主な意見）

- ・ 地域づくりの活動が認められ、職場においても動きやすくなるような裏付けとなるものがよいのではないか。
- ・ 人財塾の講師陣として加われるような地域経営学者というライセンスを設けることがよいのではないか。
- ・ インセンティブという意味で、例えば「認定ファンドレイザー」のように名刺に書けるものがよいのではないか。
- ・ 認定クラスとしての「アドバンスドコース」のような仕組みを設けることとし、修了生のインセンティブに結び付けることがよいのではないか。
- ・ 「外部専門家(地域力創造アドバイザー)」への登録(財政支援)はハードルが高いのではないか。
- ・ 観光振興の核となる人材を育てていくために観光庁で取り組んでいる「観光カリスマ」のような仕組みを設けることがよいのではないか。そんなものが1段階、最初のフェーズであったらよいのではないか。
- ・ 全国地域づくり人財塾卒塾生という呼称とロゴマークがついた名刺をつくるだけでも良いと思う。名刺で頑張れる人という人はたくさんいる。
- ・ 卒塾生の集いみたいな場をオフィシャルで用意すると、何か励みにもつながる。

(案①) 名称使用と名刺の作成の推奨

- 人財塾修了者が、人財塾のロゴマークと「全国地域づくり人財塾 ○期塾生」という名称を名刺等に使用することを推奨する。(総務省において、フォーマット例を作成し、修了生に配布。)

※表面に併記して印刷するパターン例

住所 ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○	電話 ○○○ ○○○ ○○○ — ○○○ ○○○ ○○○	係長 総務 花子 (全国地域づくり人財塾第七期塾生)	〇〇市市民課
-------------------------------	---	-------------------------------------	--------

※表面に別途印刷するパターン例

全国地域づくり人財塾 第七期塾生
総務 太郎
電話:〇〇 メール:〇〇
※各自がそれぞれの行動目標や それぞれの地域活動について書くのはどうか。 例・私は、「〇〇町を良くしたい」という情熱と 信念を持って行動します！ ・我がまちを守る！〇〇消防団で活躍中。

- 人財塾終了時に、行動目標も記載した名刺裏面案を受講生が作成し、取りまとめたものを事務局から全受講生に配布するのはどうか。(連絡先の共有にも繋がる。)

(案②) 修了生が地方版人財塾・フォローアップ研修等を開催する際の支援

- 修了生が地域で人財塾開催や、フォローアップ研修を開催する際に、総務省が人材力活性化研究会構成員等講師を派遣(総務省が旅費・謝金等を負担)することとしてはどうか。



修了生

- ・地域の人にも是非〇〇先生の話聞いて欲しい。
- ・近隣の修了生と継続してネットワークを構築したい。どうしたらいいのだろう？



- ・地域版人財塾の開催により取組の輪を広げる。
- ・フォローアップ研修によりモチベーションを維持！



修了生

地方での人財塾開催・フォローアップ研修開催 に対する総務省による支援(案)

- ・ 総務省から講師の派遣
 - ・ 総務省が講師の謝金・旅費を負担
- 等